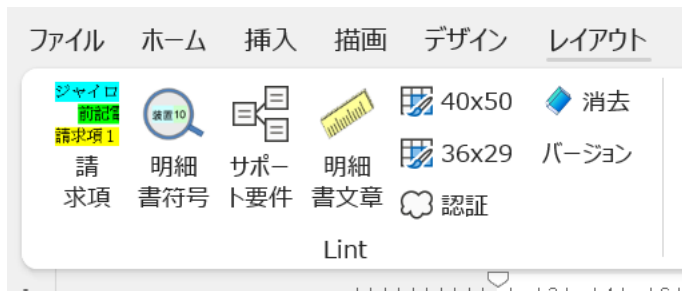


明細書 Lint 1.3.3 の使用説明書

令和6年8月10日 綾木 健一郎

1. 何をするものなのか

明細書 Lint は、特許の明細書原稿の細かな不具合を検査するものです。WORD を起動して、所望の明細書ファイルを開きます。AppLint リボンの各機能ボタンをクリックして、細かな不具合部分にコメントやマーカを表示させ、その部分を修正します。WORD 画面上で編集集中に明細書 Lint にてシームレスにチェック可能です。



請求項／明細書符号／サポート要件／明細書文章の主要機能と、40x50、36x29、認証、消去の補足的機能があります。

「請求項」は、請求項を検査するものです。「明細書符号」は、明細書の符号を検査するものです。「サポート要件」は、請求項の構成が実施形態に記載されているかを検査するものです。「明細書文章」は、明細書の文章について検査するものです。

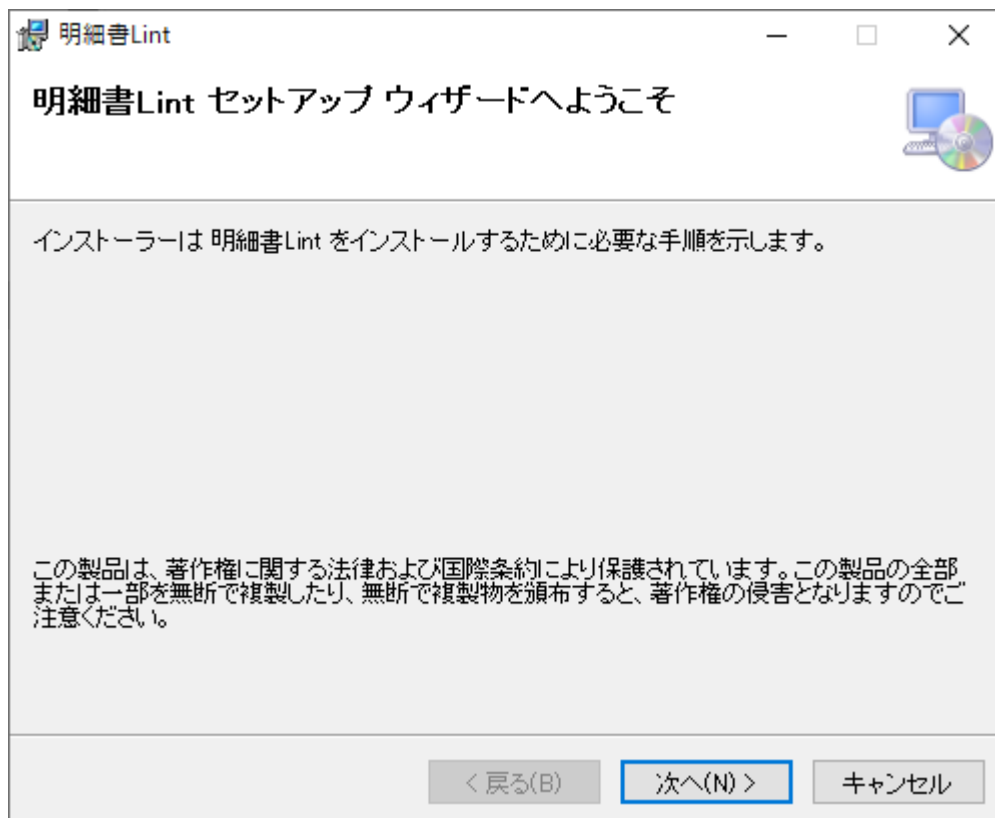
「40x50」は、各ページを出願時の形式である40文字×50行に設定するものです。「36x29」は、各ページを審査請求書の庁提出時の形式である36文字×29行に設定するものです。「消去」は、検査結果のマーカやコメントを消去するものです。

2. 動作環境

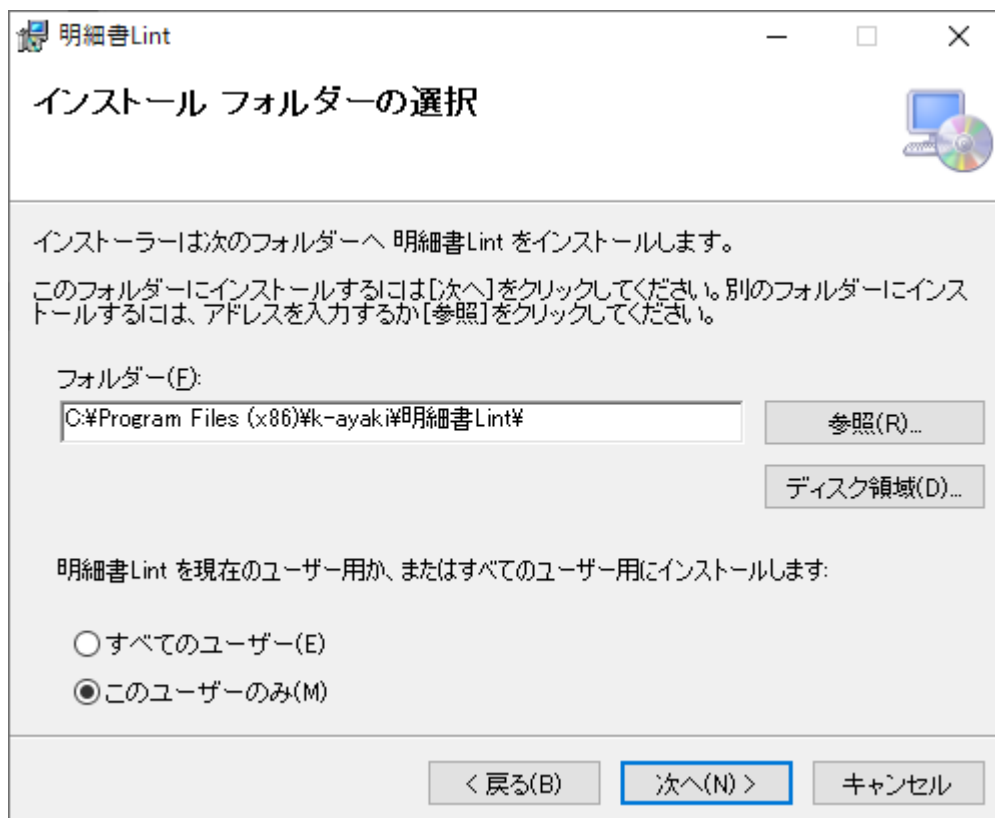
- ・ OS は、Windows 10 32bit 版、Windows 10 64bit 版、Windows 11 の何れかです。
- ・ Office365 同梱の Word または Word2019 で動作します。
- ・ ネットワークに接続可能な環境であることが必要です。

3. インストール

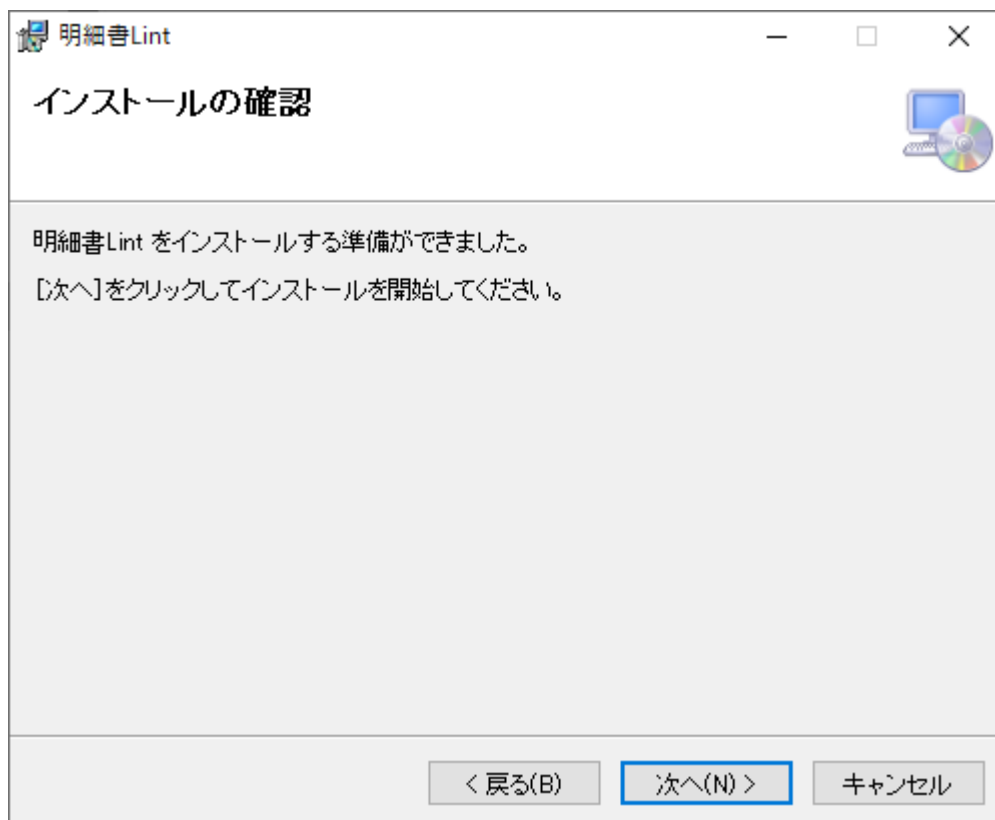
(1) setup.exe をダブルクリックして起動させます。「次へ」ボタンをクリックすると次の画面に遷移します。



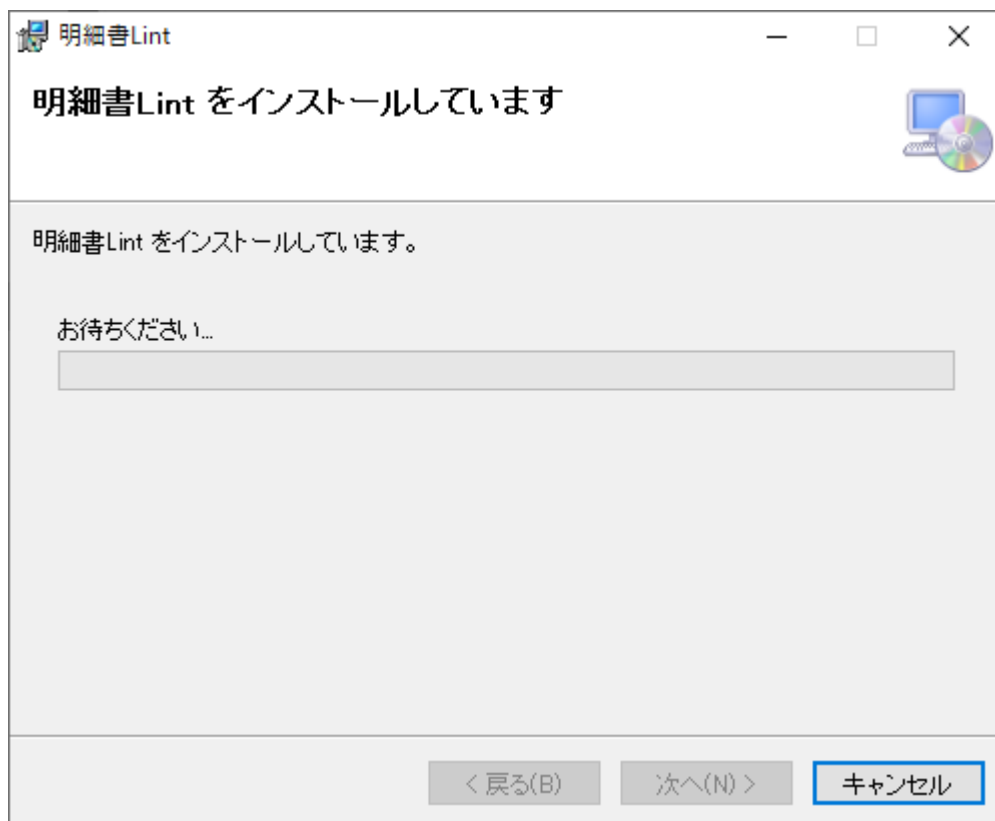
(2) インストールフォルダの選択画面です。インストールフォルダ、インストール対象のユーザともにデフォルトのままで問題ありません。



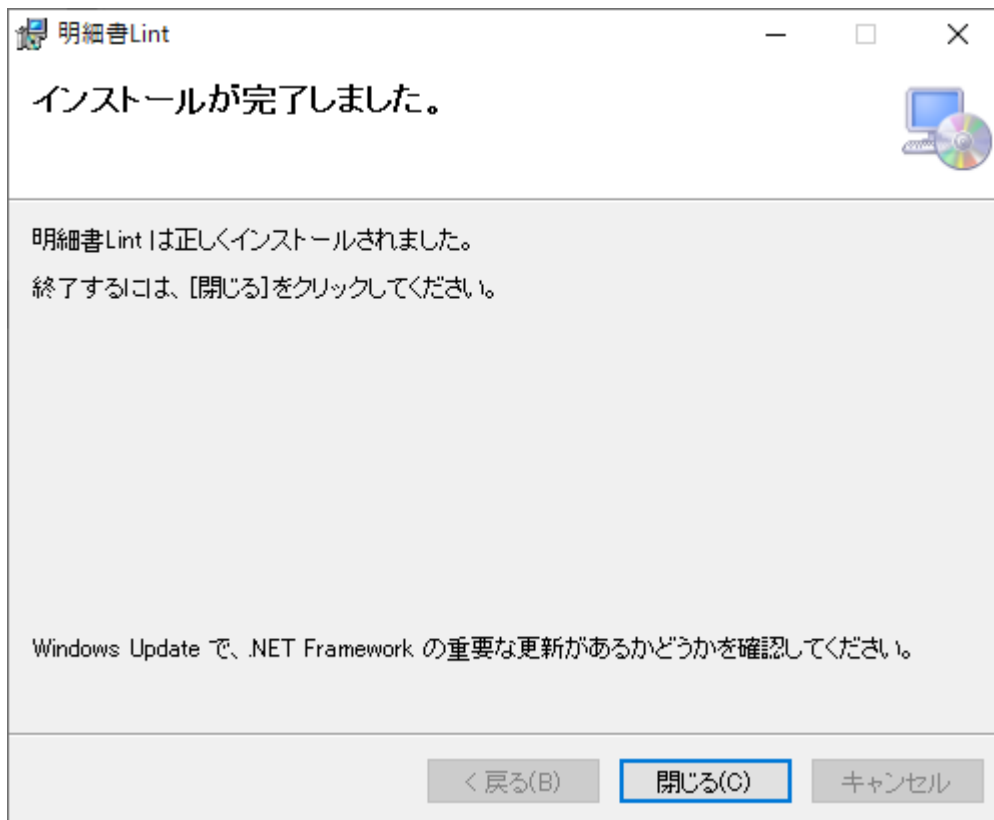
(3) インストールの確認ダイアログにて次へボタンをクリックすると、インストールが開始します。



(4) プログレスバーの進捗を暫く待ちます。確認ダイアログが表示されることもあります。



(5) このダイアログが表示されると、インストールは終了です。



4. 各機能の紹介

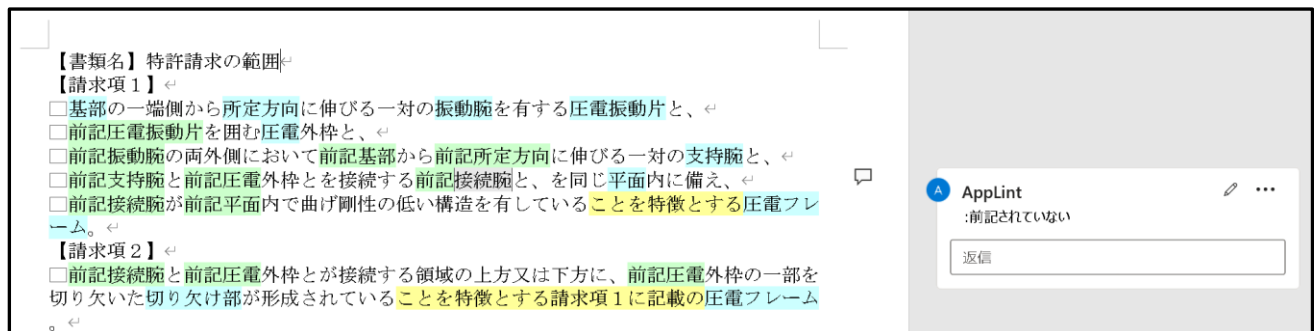
4. 1. 請求項



… 請求項の記載を検査します。具体的には以下です。「請求項」の検査結果は「消去」機能で消去してください。

(1) 先行詞（前記されている名詞に先行する名詞）が欠落していないかを検査します。前記されている名詞よりも前に、先行して記載されている名詞がなければ Word のコメントで警告します。

【請求項のチェック例 1】



上記例では、「前記接続腕」が前記されていないことを警告しています。

・前記のチェック結果

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
有する 圧電振動片と、		前記付き名詞より前に記載された名詞(先行詞)。	
前記圧電振動片を囲む		前記付きの名詞で、正常に記載されているもの。	
前記送信部		前記付きの名詞で、複数の名詞が先行して記載されているもの。	修正した方がよい
前記接続腕	前記されていない	前記付きの名詞で、これより前に記載されていないもの。	要修正

(2)「おいて書き」のチェック

- ・請求項の冒頭に記載されている「…において、」のことをプリアンブルといいます。おいて書きに記載されている名詞と、発明の対象である請求項の末尾に記載されている名詞とは一致していなければ不明確とされるおそれがあります。

【請求項のチェック例2】

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

□ネットワークで接続された利用者端末に、放送局より受信した番組の映像に広告情報を埋め込んで再配信する再配信サーバにおいて、

□受信されたデジタル映像データに対しトランスコーディングを施す事により該デジタル映像データより低レートの再配信映像データを生成する映像蓄積手段と、

□広告情報を蓄積する広告情報蓄積手段と、

□利用者端末からの番組の配信要求を受け付ける要求受付手段と、

□配信要求を受けた番組の再配信映像データを前記映像蓄積手段から取り出す再配信データ探索手段と、

□を具備することを特徴とする映像再配信サーバ。

【請求項2】

□前記広告情報の広告提供者に対しては広告料金を請求し、前記番組の放送局に対しては映像利用料金を支払う広告料金清算手段と

□を具備することを特徴とする請求項1に記載の再配信サーバ。

AppLint

:プリアンブルには「映像再配信サーバ」を記載

返信

AppLint

:発明の名称または要素が請求項1と相違

返信

上記例では、プリアンブルの「再配信サーバにおいて」は、請求項1の末尾の「映像再配信サーバ」と相違しているため、AppLintはこの相違を警告しています。

請求項のチェック例2にて、請求項2の末尾の発明の名称「再配信サーバ」は、請求項2が引用する請求項1の末尾の発明の名称「映像再配信サーバ」と相違しているため、警告しています。

・プリアンブルのチェック結果の例：

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
再配信する 再配信サーバにおいて、	プリアンブルには「映像配信サーバ」を記載	「～であって、(改行)」「～において(改行)などと記載されたプリアンブル部分と、発明の名称との不整合。	修正した方がよい

・発明の名称のチェック結果：

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
映像再配信サーバ		発明の名称で、正常に記載されているもの。	
再配信サーバ	発明の名称または要素が請求項 1,2 と相違	引用先との不整合あり。	要修正

(3) 請求項の引用部は以下を検査し。これらに違反している場合には Word のコメントで警告します。

- ・請求項の引用関係が正当か否か。具体的には自身よりも若い番号の請求項を引用しているか。
- ・請求項を択一的に引用しているか。
- ・マルチマルチクレームではないか。
- ・同一発明のカテゴリの請求項だけを引用しているか。

・引用部のチェック結果の例：

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
請求項 1 に記載の		引用部で、正常に記載されている。	
請求項 1 ～ 2 に記載の	請求項が択一的に引用されていません	択一的に引用されていない。	要修正
請求項 3 記載の	引用する項番号(N)が不正	引用先が不正。	要修正
請求項 1 から請求項 6 の何れか一項に記載の	マルチマルチクレーム	マルチマルチクレームの記載。	出願日が令和 4 年 4 月 1 日以降ならば要修正

4. 2. 明細書符号



… 符号の記載をチェックします。符号に対して要素名が一意に記載されている場合

□符号7に示す広告情報の入力方法を図4に示す。広告依頼者3は、広告を埋め込みたい番組を指定してもよいし、特に指定しなくても良い。挿入方法は、ビデオクリップを従来のいわゆるコマーシャルとして組み込んでも良いし、画面の上部あるいは下部などにテロップ広告あるいはバナー広告として組み込んでも良い。さらに、組み込まれたビデオクリップやテロップから他の広告へのURLへのリンクをはっても良い。

□また、サービス提供者2は、サービス利用者4に対し、図1、および図3中の符号10に示すように、コンピュータネットワークを介して、サービス利用者4が再配信を希望するテレビ放送映像を一意に定め得る配信希望番組情報11の入力を促す手段として、サービス提供者2がサービス提供可能な番組リスト10を提供する。これによりユーザより返信される配信希望番組情報11は、再配信データ探索部27に入力される。

□番組として示す配信希望番組情報11の入力をサービス利用者4に促す手段の一例を図5(a)、(b)に示す。図5(a)に示すインターフェースを用いて、サービス利用者4に再配信希望番組情報11の入力を促す。サービス利用者4は、図5(a)上部に示す番組表内の各番組名をマウスでクリックするか、あるいは図5(a)下方に示すダイアログにより再配信希望番組情報11をサービス提供者2に出力する。登録された再配信希望番組情報11は、図5(b)に示すインターフェースを用いて、確認の後にサービス対象として登録される。

□再配信データ探索部27では、番組表データベース24より入力される番組リスト10、

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
番組表10		符号に対して要素名が一意に記載されています。	
番組リスト10	エラー「番組表10」	符号に対して要素名が一意に記載されていません。コメントで修正候補が提示されています。	要修正
番組表は		要素名が単独で記載されている可能性があります。	要検討

4. 3. サポート要件



… 請求の範囲の用語が実施形態にサポートされているかを確認します。

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

□ネットワークで接続された利用者端末に、放送局より受信した番組の映像に広告情報を埋め込んで再配信する映像再配信サーバにおいて、

□放送局よりテレビ放送映像を受信し、受信映像を圧縮符号化することにより再配信映像データを生成するか、あるいは放送局よりデジタルテレビ放送を受信した場合は、受信されたデジタル映像データに対しトランスコーディングを施す事により該デジタル映像データより低レートで再配信映像データを生成するか、あるいは単に該映像データをそのまま再配信映像データとして、再配信映像データを蓄積する映像蓄積手段と、

□広告情報を蓄積する広告情報蓄積手段と、

□利用者端末からの番組の配信要求を受け付ける要求受付手段と、

□配信要求を受けた番組の再配信映像データを前記映像蓄積手段から取り出す再配信データ探索手段と、

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
放送局		実施形態にサポートされています。	
利用者端末	未サポート:利用者端末	実施形態にサポートされていません。	要修正

4. 4. 明細書文章



… 明細書の文章をチェックします。

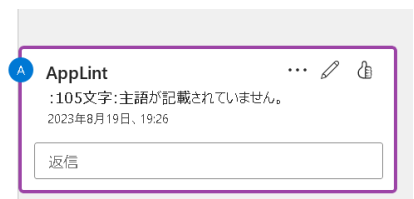
- ・文章の長さが100文字を超えるものを警告します。
- ・主語が記載されていない文章を警告します。
- ・日本語の文章の読点の代わりにカンマが使われていることを警告します。
- ・英数字の区切りに読点が使われていることを警告します。
- ・行頭にスペースが記載されていない箇所に警告します。
- ・パラグラフ末尾に句点が記載されていない箇所に警告します。

【文章の長さの警告・主語無しの警告】

X, 9 Y, 9 Zと、ピエゾ抵抗9 X, 9 Y, 9 Zからの出力をそれぞれ取り出す電極17 X, 17 Y, 17 Zとを備えている。そして、フレーム7を接着剤16により台座10に接着して固定すると共に、その接着剤16に厚みを持たせるようにして、錘部8の下端面と台座10の表面との間に空隙部分Cを形成し、この空隙部分Cで錘部8を揺動させている。

【0004】

□この半導体加速度センサに加速度が加わったときには、その加速度に応じて錘部8が揺



【読点の記載エラーの警告】

【0039】

□ボディ10は、内部にセンサ収用部10cを有した略箱形のボディで、上部に略円筒形の圧力導入管10aが、底部に略円筒形の圧力導入管10a'が夫々形成されている。圧力導入管10a、10a'の内部には、センサ収用部10cと連通した圧力導入孔10b、10b'が夫々形成されている。

【0040】

□かかるセンサにおいては、2つの圧力導入管10a, 10a'に圧力範囲の異なる2つの圧力を導入することで、圧力範囲の異なる2つの圧力を同時に且つ省スペースで検出できる。



【カンマの記載エラーの警告】

【0042】

□可撓部6は、薄肉に形成してあり、その厚み方向に撓みが可能であると共に、その長手方向を軸にして捻転可能である。この可撓部6は、その長手方向の一端部が錘部8に連結すると共に、他端部はフレーム7に連結して、フレーム7に錘部8を揺動自在に支持させている。

【0043】

□台座10は、シート形状に形成したパイレックスガラス(Pyrex Glass、コー



【文末の句点無しの警告】

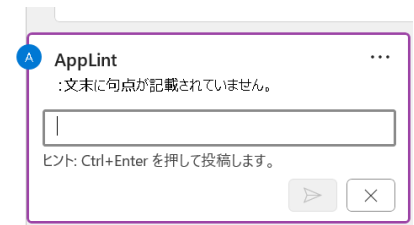
【0033】

□かかるセンサにおいては、加速度センサ3と回転角速度センサ8のセンサ出力を同時に且つ省スペースで検出でき、さらにガラス基板1により互いの電氣的な干渉が抑えられ、S/N比の良い出力を得ることができる。

【0034】

(実施形態3)

□本実施形態における基本構成は実施形態1又は2と共通するため共通する部分については同一の符号を付して説明を省略し、本実施形態の特徴となる部分についてのみ詳細に説明する。



4. 5. 消去



「消去」… マーカとコメントを消去します。

4. 6. 40x50



「40x50」・・・40文字50行の書式に変更します。その際、インターネット出願ソフトに掛けられるように出来るだけ修正します。ブックマーク，巻末注，脚注，ハイパーリンク，コントロールを削除し、変更履歴とフィールドはテキストに修正します。段落は左揃えとし、インデントは全角スペースに変換します。フォントスタイルは下線と上付き／下付きを除いて修正します。

4. 7. 36x29



「36x29」・・・36文字29行の書式に変更します。その際、インターネット出願ソフトに掛けられるよう、出来るだけ修正します。



「認証」・・・現在の認証状態を表示します。5

5. 作者への連絡方法

Linkedin : <https://www.linkedin.com/in/ken-ichiro-ayaki-965b2a8a/>

Mail: kenichiro_ayaki@users.osdn.me

6. 配布ファイルとその構成

7. 履歴

ver.1.3.1.0 … リリースの初版

ver.1.3.3 … 表示の高速化

以上